



～ 守ります 人と 自然と この地球 ～

気象庁マスコットキャラクター
「はるん」

東京管区気象台は気象庁の管区機関の1つで、関東甲信越・東海・北陸（1都16県）を管轄しています。

気象庁は、大雨や暴風、地震と津波、火山噴火などの自然現象を常時監視するとともに、気象、地震、津波、火山活動などに関する情報を発表しています。気象庁が発表する情報は、自然災害から国民の生命・財産を守るための防災気象情報のほか、交通の安全を支援する交通安全情報、農業、電力、観光など各種産業活動を支援する産業情報、国民の日常生活に役立つ生活情報、さらには人類の将来に警鐘を鳴らす地球温暖化など地球環境に関する情報などがあり、多方面で多様な役割を果たしています。

勤務地・転勤・昇任

技術系採用の場合、管轄内の地方気象台および航空地方気象台に配属になることが多いです。転勤は、2～3年毎に実施され、主に管内異動となりますが、本庁(東京)や全国の気象官署に転勤することもあります。昇進については、本人の能力と経験に応じて、係長・予報官・課長等に昇進していきます。なお、事務系採用の場合、管区気象台が気象庁本庁での採用となります。

職員数

約760名（技官：約670名、事務官約90名）
※令和4年12月31日現在

問合せ先

東京管区気象台 総務部総務課人事係
〒204-8501 東京都清瀬市中清戸 3-235
Tel 042-497-7183
HP <https://www.jma-net.go.jp/tokyo/>

採用区分

国家一般職（大卒程度）

物理、デジタル・電気・電子、化学、土木、行政

国家一般職（高卒程度）

技術 関東甲信越地域、技術 東海北陸地域



先輩職員からのメッセージ

長野地方気象台で火山防災を担当しています。火山観測点の整備点検や、火山の活動が活発になった際の現地調査、市町村との避難計画等の設定や訓練、火山に関する情報の解説などを業務として行っています。日本は活火山が非常に多い国土で、時として噴火が人命をも脅かすことがあり、日ごろから備えておくことが重要です。気象庁の火山防災業務は、そういった備えを万全にしておくためのもので、人命を守るための非常に重要な業務であり、日々やりがいを感じています。（平成31年度採用/長野地方気象台/技官(物理)）

